

イ 学生等若い世代の食育支援

- ① 援農ボランティア活動等を通じた学生の農林漁業体験の推進
(具体例)・ふるさとボランティア(略称「さとボラ」)の実施(下記参照)

- ② 生協等の学生食堂と連携した「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開、郷土料理・行事食提供の推進
(具体例)・大学での新入生に対する調理実習(下記参照)
・学生食堂での地産地消フェアの開催

- ③ 大学と連携した食育の推進
(具体例)・大学のアスリート系クラブに対する食生活指導を通じた食育の推進
・大学コンソーシアム等と連携した食育講座の開講

- ④ 親子農林漁業体験の推進
(具体例)・食生活改善推進員や生活研究グループ等による親子料理教室【再掲】
・食品関連団体と消費者団体の連携による親子での和菓子作り等体験教室【再掲】

【さとボラ in 古屋】

綾部市睦寄町「水源の里古屋」において、学生などが栃の実を守る鹿よけネット柵を張ったり、栃の実(おかき等に加工)拾いをするなどのボランティア活動を実施しました。



【新入生料理教室】

大学の新生に対して、自炊教室と食生活学習会を実施しました。新入生だけではなく、リーダーとして上級生も参加するので、交流の場にもなります。



- ⑤ 食に関する体験・学習ができる施設等の情報提供
 (具体例)・京都府のホームページでの紹介【再掲】
 ・きょうと食育情報や食の安心・安全情報等メールマガジンの配信
- ⑥ 生産現場での意見交換等の生産者と消費者との交流の促進
 (具体例)・食品関連団体と消費者団体の連携による親子での和菓子作り等体験教室【再掲】
 ・京都府農林水産技術センターによる「農林漁業と食の府民講座」の開講
- ⑦ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進
 (具体例)・食育講演会の開催
 ・助産師会、栄養士会等関係団体と連携した食と健康に関する講座の開講
 ・マザーズジョブカフェ等就業支援の場での食生活指導、料理教室の実施
 ・スーパーマーケットでの「きょうと食育キャンペーン」の実施による食育に関心の薄い層への啓発(下記参照)
 ・農林水産フェスティバルやSKYふれあいフェスティバルでの食生活相談等の実施
 ・食品関係事業者等と連携した地元産物を活用したレシピ作成
- ⑧ 職場での料理教室の推進
 (具体例)・食の重要性の理解促進や栄養バランスのとれた食事調理能力の習得のための職場での料理教室の開催
- ⑨ 健康診査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進
 (具体例)・生活習慣病予防のための適切な食事等の指導

【食育キャンペーン】

きょうと食育ネットワークではスーパーで食に関する啓発や、栄養士会による食生活相談などを実施しています。



栄養士に相談



食育クイズなど